

鉄道メタバースを活用した車両情報共有支援

HITACHI

見て、触れて、分かる。車両まるごと3D空間。

鉄道車両メタバースは、3Dで再現した車両空間にWebアクセスし、自由に空間内移動や場所に紐づく情報蓄積をすることができるシステムです。

車両構造の確認や、直感的な情報登録・検索ができ、メンテナンスの事前準備、故障時の対応、教育などで活用することにより、メンテナンスに携わる作業員一人ひとりの技能レベルの向上や、自ら積極的に学ぶ意識の醸成が期待できます。



What's new? 適用範囲がさらに拡大！

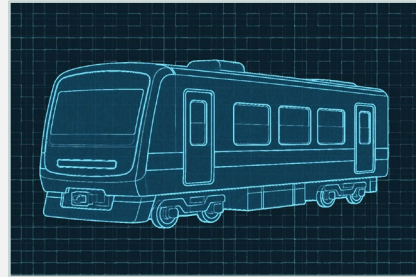
3DCADデータの有無に応じた、最適な3Dモデル構築を実現。



3D CADデータ「あり」車両

設計3Dデータを活用

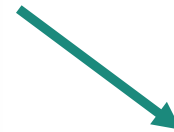
3DCADデータによる高精度な3Dモデル。
操作できるパーツは分解粒度が細かく、
内部構造も確認可能。



3D CADデータ「なし」車両

写真・計測データを活用

写真や計測データから3Dモデルを作成。
新たに実現手法を確立、適用範囲が拡大。

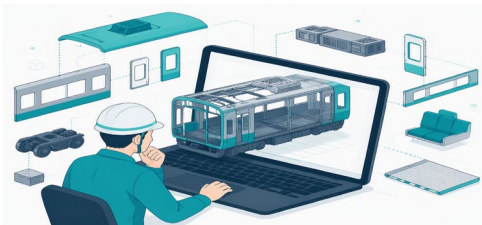


どちらの車両も **3D空間で閲覧可能！**

鉄道メタバースの活用イメージ

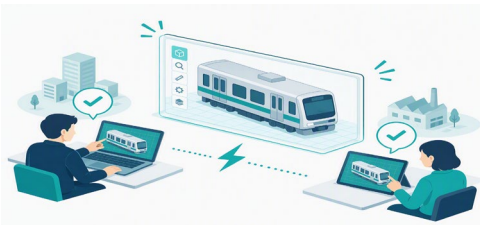
HITACHI

1つの3D空間が、多彩な活用シーンへ。



🔍 車両の構造確認

3D空間で構造を直感把握



⚡ 意思決定の迅速化

遠隔で視点共有し即断



👥 詳細確認会議での活用

同じ3Dで認識を統一



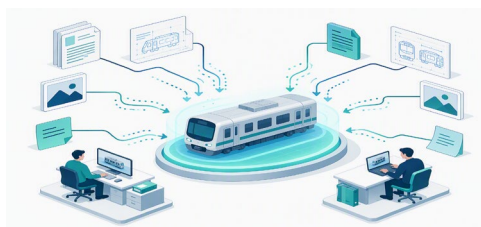
🎓 教育への活用

技能継承・OJTの支援



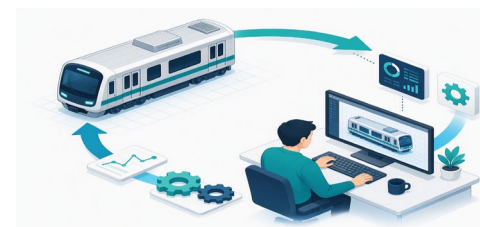
❤️ モチベーションアップ

自ら学ぶ個人学習を促進



🔍 部署をまたいだ情報共有

図面・写真・メモを集約



🔄 次期車両への反映

日立へFBして改善

凡例

- 🟦 現場で生かす
- 🟥 人を育てる
- 🟢 情報をつなぐ